

株主の皆様とテクマトリックスを
つなぐIRマガジン「テクマティズム」

TechM@trix

証券コード **3762**

第38期報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

テクマトリックス株式会社

TECHMATISM



テクマトリックスは、より良い未来の創造に貢献するITのプロフェッショナル集団として、最新のIT技術を活用し、企業のビジネスモデル変革と企業競争力の強化をサポートしています。

最先端の情報基盤技術のインテグレーションを提供する「**情報基盤事業**」と、顧客の抱える問題領域における実践的なノウハウを実装したアプリケーションの提供を行う「**アプリケーション・サービス事業**」の2事業によって成り立っています。

アプリケーション・サービス事業

- クラウド型医療用画像管理システムやPHR(Personal Health Record)サービスの提供
- コンタクトセンター向けの顧客管理システムの提供
- IoT時代の組み込みソフトウェア品質保証のためのテストツールの提供
- インターネットサービス、金融分野でのソリューション提供
- IT技術者向け教育サービスの提供
- 教育機関へのコミュニケーション・プラットフォーム兼校務支援システムの提供



PARASOFT

学びを 未来へ 訪く
ツムギノ
tsuumugino

TechMatrix

身近なところで縁の下のチカラ持ち



情報セキュリティ
クラウドサービスを安全・快適に



コンタクトセンター
業務をよりスムーズに



医用画像管理を
容易に安全に



交通機関の制御の
安全性向上

情報基盤事業

- 最先端のサイバーセキュリティ対策製品・ストレージ製品の提供
- お客様の安全な情報基盤構築のために、設計・構築・保守に加え、24時間365日の運用監視サービスの提供



McAfee

DELL Technologies

中期経営計画

「BEYOND THE NEW NORMAL」は
順調に進行中。

医療分野での買収も実現し、
成長はますます加速しています。

代表取締役社長 由利 孝



当期(2022年3月期)を振り返って

新型コロナウイルス感染症に対する懸念が未だ払拭されないことに加え、不安定な国際情勢の影響などもあり、国内経済は先行き不透明な状況が継続しています。一方、当社グループの事業領域では、リモートワークの定着やサイバー攻撃の脅威が高まっていることを受け、サイバーセキュリティ対策の製品・サービスの需要が一層高まっています。

このような環境の中、当社グループは当期からスタートした中期経営計画「BEYOND THE NEW NORMAL」のもと、クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進や、セキュリティ&セイフティ(安全と安心)の追求などの事業戦略を推進しました。また、今年2月には、医療分野での競合企業であったPSP(株)を子会社化しました。こうした取り組みの結果、当期の売上収益および営業利益はいずれも計画値を上回り、過去最高となりました。

情報基盤事業では、クラウド型セキュリティ対策製品や

統合セキュリティ監視サービスが順調に受注を伸ばしており、付加価値向上の戦略が実を結びつつあります。アプリケーション・サービス事業では、医療分野でPSP(株)の子会社化という大きな成果が上がったほか、新規事業の教育分野でも、受注が着実に積み上がっています。

中期経営計画の進捗について

当社は当期から3年間の中期経営計画「BEYOND THE NEW NORMAL」に取り組んでいます。当計画では、従来からの中核的事業戦略を継続しつつ、持続可能な社会の創造に向けたサービス価値を提供するための7つの基本戦略を展開します。

当期の大きなトピックは先ほどもご紹介したPSP(株)の子会社化です。医用画像管理システムで当社子会社の(株)NOBORIと競合関係にあったPSP(株)を傘下に収めたことで、同分野での当社グループの市場シェアは2位に浮上しました。4月には両社がPSP(株)を存続会社として合併して新

決算ハイライト

当期業績のポイント

- 順調に受注が積み上がり売上収益、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益の全ての指標において7期連続で過去最高を更新。売上収益は20期連続で増収。
- 配当金は当期業績の利益水準をふまえ、中間配当7円を実施、期末配当を13円とし、1株当たり20円(前期比1円増)を実施。

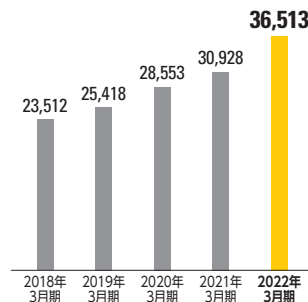
より詳細な財務情報は <https://www.techmatrix.co.jp/ir/library/>

テクマト IR

検索



売上収益 (百万円)



生PSP(株)となりました。今後、顧客基盤や製品・サービス、開発部隊などを統合することで、さらなる競争力の向上とシェアの拡大を目指します。新体制のスタートと同時にエムスリー(株)との合併会社の設立、キャノンメディカルシステムズ(株)との協業が決定するなど、当社グループの医療関連ビジネスは、いよいよ飛躍の時を迎えつつあります。

教育機関向けクラウドサービス「ツムギノ」では、先進的な私立学校への導入が順調に進んでいるほか、公立学校へ

の普及に不可欠な一般財団法人全国地域情報化推進協会(APPLIC)の認定を取得するなど、今後の普及拡大に向けた取り組みが着実に進んでいます。海外市場の開拓に関しては、CRM分野で昨年資本・業務提携したタイのWisights社と共同でASEANへの市場開拓に本腰を入れる計画です。

また、女性活躍の推進や、新人事制度を策定するなど人材育成や組織開発にも力を入れております。

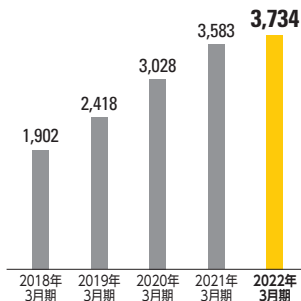
2023年3月期の事業計画

サイバーセキュリティ関連の需要は引き続き高水準で推移すると見ており、企業のDX関連投資も加速するなど、当面は事業環境に大きな変化はないと予想しています。

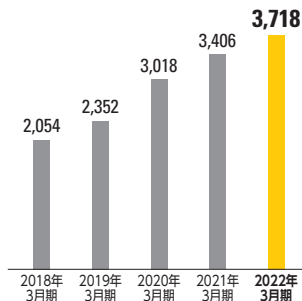
情報基盤事業では引き続き、統合セキュリティ監視サービス「TechMatrix Premium Support (TPS)」などの拡販を図ります。アプリケーション・サービス事業では、医療分野においては新生PSP(株)の事業統合を着実



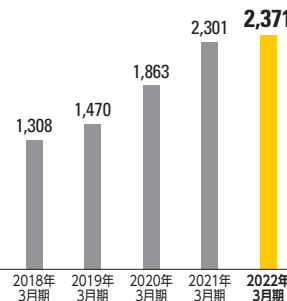
営業利益(百万円)



税引前利益(百万円)



親会社の所有者に帰属する 当期利益(百万円)



1株当たり配当金(円) 配当性向の推移(%)



※2020年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。それに伴い、1株当たり配当金は過年度に遡及し調整しています。

※2021年3月期の有価証券報告書よりIFRSを適用しています。

※2020年3月期以前は日本基準、2021年3月期以降はIFRSに基づいて記載しています。

に進めるとともに、事業規模の拡大を加速します。教育分野ではこれまで私立学校への導入が先行していた「ツムギノ」を、公立学校にも普及させていくための勝負の一年と位置付けています。

また、今年12月には、本社所在地を東京・品川へと移転し、グループ各社の本社機能を集約します。中期経営計画の課題の一つであるグループ間連携の強化を図るほか、在宅勤務の普及など新しい働き方に対応したオフィス空間を構築することで、より効率的で創造的な職場環境を提供することを目的としています。

2023年3月期の売上収益は、新生PSP(株)の売上が加わるため、当期比17.8%増の430億円と大幅に増加する見通しです。営業利益については、同社におけるクラウドシフト(月額課金モデル)を推進すること、成長事業への投資を継続すること、本社移転費用の一部を計上することなどから、売上収益に比べると小幅な伸びとなる見通しですが、年々収益性は改善させる計画です。

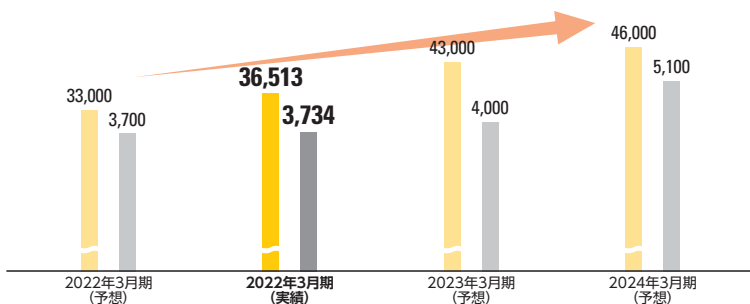
株主の皆様へ

当社は株主の皆様に対する利益還元を重要課題と位置付けており利益配分に関しては、配当性向20%以上を基本方針としております。この方針に基づき、2022年3月期の年間配当金は中間配当7円と期末配当13円を合わせ、1株当たり20円とさせていただきます。年間配当金は前期比1円の増配となります。

デジタル化によって、産業構造や個人の働き方、医療や教育のあり方など、社会全体が急速に変わりつつあります。当社グループが目指してきた「ベストプラクティスをクラウドで提供する」という戦略は、まさにその流れを先取りしたものであったと自負しており、「BEYOND THE NEW NORMAL」を通じてその戦略をさらに加速し、我々が持つ技術・サービスの高いポテンシャルを発揮していくことで、さらなる成長を実現してまいります。

株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご支援を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

■ 中期経営計画の計画値と実績(百万円) ■ 売上収益 ■ 営業利益



		2022年3月期実績 (第38期)	2024年3月期計画 (第40期)
売上収益	全体	36,513百万円	46,000百万円
	情報基盤事業	24,711百万円	29,000百万円
	アプリケーションサービス事業	11,802百万円	17,000百万円
営業利益	全体	3,734百万円	5,100百万円
	情報基盤事業	3,054百万円	3,600百万円
	アプリケーションサービス事業	679百万円	1,500百万円

■ 基本戦略



クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進



セキュリティ&セイフティ(安心と安全)の追求

テーマ		自己評価	取り組み
コンテンツ戦略	1 取扱製品の拡大・新規サービスの立ち上げ	△	<ul style="list-style-type: none"> 自律型AIエンドポイントセキュリティ「SentinelOne」、Webテスト管理ツールがクラウド環境で利用可能な「クラウド版TestRail」やLIBOR廃止に対応するAprecciaシリーズ新製品「市場性貸出管理システム」など、6つの製品・サービスの取扱を開始
	2 サービス化の加速(サービス比率拡大)	○	<ul style="list-style-type: none"> 統合監視とインシデント対応支援サービス「TPS」や、未知の脅威を検知、防衛する「Cortex」の拡大 教育機関向けコミュニケーション・プラットフォーム「ツムギノ」が、APPLIC準拠登録・相互接続確認オレンジマークを取得、ASPICのクラウドアワード2021で準グランプリ受賞するなど各種認定や表彰を獲得
	3 データの利活用(AIの利用を含む)	○	<ul style="list-style-type: none"> (株)NOBORIと旧PSP(株)の事業統合により、医療情報の利活用に関する研究開発を促進し、画像診断、AI事業の拡大に着手 エムスリー(株)と合弁会社エムスリーAI(株)を設立し、AI医療機器の開発支援など先端医療分野での事業を加速
外部戦略	4 多様なアライアンス・M&A(既存事業の拡大と新規事業の創出)	○	<ul style="list-style-type: none"> PSP(株)の過半株式を取得し連結子会社化。2022年4月(株)NOBORIとPSP(株)が合併 次世代セキュアアクセスソリューション「AppgateSDP」の拡販に向けて、丸紅ネットワークソリューションズ(株)と販売パートナー契約を締結 (株)RevCommが運営する音声解析 AI 電話「MiiTel(ミーテル)」と当社CRMシステム「FastHelp5」がシステム連携を開始
	5 海外市場での事業の拡大	△	<ul style="list-style-type: none"> ASEAN地域での事業拡大を目的にソーシャルデータ分析クラウド分野でタイ最大手のWisights社と資本・業務提携
内部戦略	6 グループ関連携の強化によるシナジーの創出	○	<ul style="list-style-type: none"> グループ関連携の強化を目的に各グループ会社の本社機能の集約と合わせて本社移転を決定(2022年12月移転予定)
	7 人材育成/組織開発(ダイバーシティの推進含む)	○	<ul style="list-style-type: none"> コーポレートガバナンス・コード改定に沿って、ダイバーシティ・インクルージョンに向けた活動を推進 次世代リーダー育成プログラムの推進、新人事制度を4月から導入

情報基盤事業

セキュリティ分野

次世代のサイバーセキュリティプラットフォーム

SentinelOneの取扱いを開始



セキュリティ分野においては、2021年12月より次世代のサイバーセキュリティプラットフォームである「SentinelOne」の取扱いを開始いたしました。

近年、標的型攻撃やランサムウェアなどのサイバー攻撃による被害が拡大し続けています。攻撃者の技術や攻撃範囲も拡大しており、従来のファイルベースのマルウェアのみならず、ファイルレス攻撃やアプリケーションの脆弱性を悪用した攻撃、不正なマクロや悪意あるスクリプトなど、従来型のシグネチャによるパターンマッチングをベ

スとしたアンチウイルス製品のみでの対策では限界を迎えています。

「SentinelOne」は自律型のエンドポイントセキュリティ製品であり、高度なAIエンジンを備えてさまざまなサイバー攻撃を検知し、特許技術を用いた脅威に関連するプロセスの行動の追跡や侵害を受けた際にも自動修復する機能を備えています。海外では急速に普及している最先端の技術であり、今後は日本国内での需要増加も見込まれる製品です。



SentinelOne：検知から対応、復旧までの機能を統合的に提供するプラットフォーム

Windows とLinux 両方の環境で検知漏れが全くなく、MITRE ATT&CKで唯一100%検知したベンダー

* 2020年 MITRE ATT&CK 評価

NGAV+EDR、XDR

単一エージェントを介して、高い検知能力を備えた次世代型AIアンチウイルス機能と、可視化を実現するEDR機能を提供

自律型

クラウド上の管理コンソールによる検知ではなく、マシン単体で自律的にマルウェア検知から隔離、修復、回復までを実現

脅威ハンティング

高度な侵入を検知する脅威ハンティング機能や、ユーザが自由に検知・対応ルールを作成できるカスタムルール機能を提供

* NGAV: Next Generation Anti Virusの略で、未知のマルウェアなどの脅威に対応するために「ふるまい検知」や「AI・機械学習」を活用したもの

* EDR: Endpoint Detection and Responseの略で、端末などのエンドポイントに侵入したマルウェアの検知や除去、拡散抑制を行うもの

アプリケーション・サービス事業 医療分野

新生PSPがスタート

医療分野でNOBORIとPSPが合併



医療分野では、2022年4月に(株)NOBORIとPSP(株)が合併し、PSP(株)として新たなスタートを切りました。(株)NOBORIは、2018年に当社から医療システム事業部が独立して誕生し、PSP(株)は1989年に創業以来、独立系として医療分野で事業を展開してまいりました。この度両社が一つになり、医用画像管理システム市場ではシェアが第2位となっております。

今後は両社の強みを生かし、2020年展開を開始したPHR(Personal Health Record)サービスや画像診断AI関連事業を一層加速させていくとともに、PSP(株)の医療クラウドに保管される医用画像データの利活用に関する研究開発を強化し、社会に貢献しながら事業を進めてまいります。

NOBORI Ltd.

TechMatrix Group

PSP 株式会社

Public and social systems Solution Provider

顧客基盤

サービス・製品

開発計画

統合・集約



顧客数・
売上ベースで
市場シェア2位
を確保
(2,200施設)

製品・サービスの
機能と品質の
更なる向上

技術リソース再配置で
PHR/AI/データ利活用
など新事業を加速

クラウドでの
更なる
データ集積
PHR利用/
施設の増加



Check!

PSP(株)はエムスリー(株)とともに、AI関連事業の合併会社を設立しました。
エムスリーAI(株) : <https://m3comlp.m3.com/lp/m3com/m3-ai-platform>



Wisights社との提携

ASEANにおけるFastSeriesの拡大



当社は2021年7月に、ソーシャルデータ分析クラウドサービスにおいてタイ最大手のWisights社と資本・業務提携を締結しました。特にASEAN地域においては、ソーシャルメディアでの口コミ・投稿等が消費者の行動に大きな影響を与えられていると言われており、企業活動においても大きな影響を与えています。

当社は、2015年に初めてASEAN地域においてコンタクトセンターCRMシステムFastSeriesを提供し、顧

客を獲得しました。2018年からは現地(タイ)に営業拠点を設置して、タイを中心とした同地域におけるCRMソリューション事業の拡大を加速しております。

Wisights社との提携により、同社を通じて当社のFastSeriesの販売促進が一層進展したほか、同社製品とのコラボレーションや、新サービスの開発に取り組んでおります。

中期経営計画テーマ

多様なアライアンス・M&A
(既存事業の拡充と新規事業の創出)

海外市場での事業の拡大

TechMatrix

WISESIGHT

- Wisights社を通じたテクマトリックス製品・サービスの販売推進
- Wisights社製品とテクマトリックス製品の連携強化・商品化
- シナジーを活かした新規製品開発



FastSeriesはオリジナルページを公開しております。製品紹介や導入事例、ブログも公開しております。是非ご覧ください。
FastSeriesオリジナルページ : <https://fastseries.jp/>



アプリケーション・サービス事業 教育分野

サービス提供開始から1年

ツムギノ事業の経過と成果

子どもの主体的・対話的で深い学びと、教職員の働き方をデジタルで促進する、新しい形のスクール・コミュニケーションプラットフォーム+校務支援システム、「ツムギノ(tsumugino)」が2021年4月にサービス提供を開始して1年が経過しました。

生徒が一人1台学習端末を持つ時代、新しいニーズに

対応するサービスとして先進的な私立学校での採用や、各種認定や表彰も獲得し、当サービスへの評価は着実に高まっています。

今後は公立校へのアプローチも積極的に行い、教育業界に革新と新たな価値創造を生み出すべく、教育現場への導入拡大を目指してまいります。

学びを 未来へ 紡ぐ



ツムギノに関する主な評価と受賞実績



0254-2109

ASP・SaaS
安全・信頼性に係る
情報開示認定取得



ASPIC IoT・AI・
クラウドアワード
準グランプリ受賞



APPLIC
準拠登録・相互接続確認
オレンジマーク取得



Check!

ツムギノのサービス紹介動画を公開いたしました。是非ご覧ください。
ツムギノHP : <https://tsumugino.jp/>



株主優待のご紹介

当社は、株主の皆様の日ごろからのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的に、株主優待をご提供しています。

昨年度のお申込みは91.0%と、多くの株主様にご好評をいただいております。今後も継続して実施を予定しています。

対象

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された500株以上の当社株式を保有する株主様

優待内容

500株以上	1,500円相当の商品または寄付
1,000株以上	4,000円相当の商品または寄付

2022年度優待品

500株以上保有する株主様(1,500円相当)



北海道 鮭三昧



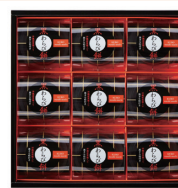
帝国ホテル
カレーセット



フリーズドライ
ギフト



静岡茶詰合せ



ひととえ
黒わらび餅

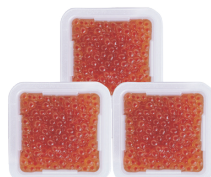
1,000株以上保有する株主様(4,000円相当)



松阪牛
すき焼用



デミグラス
ハンバーグ



いくら醤油漬け



有機栽培
ドリップコーヒー



神戸スイーツ
牧場アイスクリーム

※写真はイメージであり、実際の商品と異なる場合がございますのでご了承ください。

● 会社概要

商号 テクマトリックス株式会社
(英語名: TECHMATRIX CORPORATION)
設立 1984年8月30日
上場 2005年2月18日
証券コード 3762
資本金 12億9,812万円
従業員数 1,502名(連結)
本社所在地 〒108-8588 東京都港区三田3-11-24
国際興業三田第2ビル
TEL : 03(4405)7800(代表)
FAX : 03(6436)3500

● 役員の状況 (2022年6月24日現在)

代表取締役社長 由利 孝
取締役専務執行役員 依田 佳久
取締役専務執行役員 矢井 隆晴
取締役常務執行役員 鈴木 猛司
社外取締役 安武 弘晃
社外取締役 海部 美知
社外取締役 堀江 愛利
社外取締役(常勤監査等委員) 佐々木英之
社外取締役(監査等委員) 高山 健
社外取締役(監査等委員) 三浦 亮太
社外取締役(監査等委員) 杉原 章郎

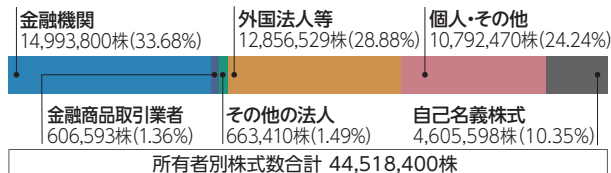
● 株式の状況

発行可能株式総数 165,888,000株
発行済株式の総数 44,518,400株
株主数 7,985名

● 大株主の状況

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,796,000	15.26
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	6,275,200	14.09
テクマトリックス株式会社	4,605,598	10.34
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	2,516,300	5.65
徳山 教助	1,426,000	3.20
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 009-016064-326 CLT	1,022,300	2.29
株式会社日本カストディ銀行(証券投資信託口)	992,200	2.22
テクマトリックス従業員持株会	783,800	1.76
GOVERNMENT OF NORWAY	728,953	1.63
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	599,000	1.34

■ 株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 3月31日
配当金 9月30日
3月31日
株主優待 9月30日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告による事ができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <https://www.techmatrix.co.jp/>



テクマトリックス株式会社 証券コード: 3762

〒108-8588 東京都港区三田3-11-24 国際興業三田第2ビル
TEL : 03(4405)7800(代表) FAX : 03(6436)3500

